

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映…ご家族にとって、施設での毎日は気がかりです。行事のみならず日々の生活が反映された施設便りの発行が必要です。と、ご指摘を受けました。	ご利用者が施設でどのように生活しているかが手に取るようにわかる『気さくな施設便り』をコンセプトに作成し、ご家族様へ安心をお届けいたします。また、職員との信頼関係を築くツールでもあり、面会者・来客者・見学者の手にも渡る広報誌であることを目標とします。	行事やレクリエーションのみならず日常生活や施設内での役割をされている姿や職員・近隣施設等も写真付で紹介し、より身近な発行物を作成いたします。定期便として3ヶ月に1度のペースで、ご家族に郵送いたします。また、運営推進会議の際、地域住民や市役所職員などにも配布、施設内にも置きご面会者や来客者、施設見学者にも気軽に持ち帰れるようにいたします。	(新年度) H26.4～
2	35	災害対策…火災に対する避難訓練は年2回開催されているも、それ以外の台風・地震・竜巻等を想定した防災・避難訓練の実施や緊急用の備品を入れた非常持ち出し袋やポータブルストーブ等の準備をして、自然災害に対しても万全を期す必要があります。とご指摘を受けました。	火災に対しては全職員がマニュアルや訓練により十分な認識を持っているものの、台風や竜巻、地震などによる建物損壊や陳列物の倒壊や転倒・転落・落下、長時間にわたる停電等に対して認識不足といえます。ここ数年の異常気象や地震大国として、あらゆる自然災害に対してできる限りの準備を整えること、定期的に見直しすることを目標とします。	事業所の消防計画に記載されている災害時対策を見直しマニュアルを修正します。自然災害時の避難訓練の実施(消防署への協力依頼)、建物内外・居室内の備品や陳列物を点検し危険物となりうるものの固定や移動、撤去も考慮し安全と導線を確保します。また、災害時用持ち出し袋の配備やポータブルストーブの準備(稟議書の提出)、一時避難場所への移動手段的確認等、一つずつ精査(実施)いたします。合わせて、災害時の地域住民との連携も運営推進会議等で話し合います。	(新年度) H26.4～
3					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。